

平成30年11月27日

政務活動費成果届出書

届出者 沢田 清

○使途項目 (○をつける) 調査研究 ・研 修・広 報・資料作成・資料購入

○タイトル

市民討議会について及び地域医療政策の方針について

○目 的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

①行政に対して、意見や考えを積極的には表明しない、多くの一般的な市民であるサイレントマジョリティの存在は、いくつかのリスクをもたらすと言われている。

- ・サイレントマジョリティの意見が把握できないことから、民意と政策のずれが生じる
- ・一部の市民の意見だけが尊重されているかのように見える不公平感に起因する、行政に対する不満
- ・当初はサイレントマジョリティであった市民が、事業の具体的進展によって、ラウドマイノリティになることによる進捗への影響

(南博氏、「“サイレントマジョリティ”の市区町村行政への意見反映」による)

※サイレントマジョリティ：物言わぬ多数派、ラウドマイノリティ：声高な少数派

これらの対応として

- ・サイレントマジョリティの意見を把握する
- ・市民（特にサイレントマジョリティ）の政治参加の機会の増加を図る

ことが考えられ、そのための方策として市民討議会の開催が考えられる。

その手法や課題について知見を得る。

②地域医療をどのように確保し、質を高めるかは、常に意識をし、時代に合わせたの対応が必要である。地域医療政策セミナーへ参加をし、これらに対する知見を得る。

○結 果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

目的は達成できた。

◎三鷹市

2006年から8回の開催

参加者は、1800通の発送で最終的に約60人。一回当たりの予算300万円

2日間のディスカッションの一日目に懇親会を取り入れたところは見習いたい。

始める前段階でのルールづくりと説明をしっかりと行わなければ進まない。

NPO法人みたか市民協働ネットワークと三鷹市とのパートナーシップ協定に基づく協働運営でまちづくりディスカッションを進めており、このNPO法人がキーパーソン。また、三鷹市は、コミュニティ行政がしっかりと出来ていた。7つの住民協議会と7つのコミュニティセンターは特徴的で、協働の歴史が古くからある。市民のマナーというか無茶を言う市民がいないことは違いを感じた。

確認欄	議長	管理委員長



申し合わせ様式第2号

◎新宿区

多くの区民が参加し時間をかけて議論を尽くすのも一つの方法であるが一方で、ライフスタイルが多様化するなか、誰もが気軽に区政参加することも重要という考えから無作為抽出による区民討議会を開催することとした。

グループ討議の際は、「進行」「時計」「書記」「発表」の係りを決めて行う。グループは3つ、それぞれにファシリテーターを業者委託で配置している。予算は300から400万円
区民討議会開催の明確な基準はないが、中長期的な計画を策定する際に開催されている。緊張を和らげる努力はどちらも同じ。

◎地域医療

苦勞されたことはよくわかった。

○提 言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

事を進める前段階に活用をしなければいけない。住民投票に発展する前にこれからは一つの手法として取り入れること。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

市民や区民の体質の違いを感じた。ファシリテーター役を確保する。

確認欄	議長	管理委員長

○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間	内容		金額 (円)	領収書 No.
10/31	7:56~8:54	東成岩一名古屋 (JR)	運賃 (南大高 まで)	410	①
	9:22~11:03	名古屋一東京一三鷹	運賃	6,480	③
	11:25~11:56	(のぞみ 114号-JR 中央線)	指定席	4,830	③
		昼食			
	13:34~13:37	三鷹駅一八幡前 小田急バス⑦番乗り場【51、 54】	運賃	220	⑧
	14:00~16:00	視察 NPO 法人みたか市民 協働ネットワーク	視察料	1,250	⑪
	16:17~16:27	八幡前一三鷹駅 小田急バス【鷹 51、54】		220	⑧
	16:46~17:16	三鷹一新宿 (JR 中央線快 速)		220	②
	宿泊	東急ステイ新宿 新宿区三丁目 7 番 1 号	宿泊費	12,000	④
11/1	9:30~11:00	新宿区視察	手土産	513	⑨
11/1	11:20~11:24	新宿一市ヶ谷一麴町	運賃	280	⑤
	11:31~11:32	(都営新宿線一東京メトロ 有楽町線)			⑩
	13:00~16:40	第 141 回地域医療政策セミ ナー (都市センターホテル)			
	17:11~17:17	麴町一東京一名古屋	運賃	170	⑥
	17:25~17:28	(東京メトロ有楽町線-JR		6,260	③
	18:00~19:41	山の手線一のぞみ 121 号)	指定席	4,630	③
	19:56~20:34	名古屋一青山(名鉄)	運賃	660	⑦
			合計	38,143	

※手土産 2,052 円 ÷ 4 名 = 513 円

※三鷹市 NPO 視察料 5,000 円 ÷ 4 名 = 1,250 円

政務活動費成果届出書

届出者 中村 宗雄

○使途項目 (○をつける) **調査研究**・研 修・広 報・資料作成・資料購入

○タイトル

市民討議会について及び地域医療政策の方針について

○目 的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

①行政に対して、意見や考えを積極的には表明しない、多くの一般的な市民であるサイレントマジョリティの存在は、いくつかのリスクをもたらすと言われている。

- ・サイレントマジョリティの意見が把握できないことから、民意と政策のずれが生じる
- ・一部の市民の意見だけが尊重されているかのように見える不公平感に起因する、行政に対する不満
- ・当初はサイレントマジョリティであった市民が、事業の具体的進展によって、ラウドマイノリティになることによる進捗への影響

(南博氏、「“サイレントマジョリティ”の市区町村行政への意見反映」による)

※サイレントマジョリティ：物言わぬ多数派、ラウドマイノリティ：声高な少数派

これらの対応として

- ・サイレントマジョリティの意見を把握する
- ・市民（特にサイレントマジョリティ）の政治参加の機会の増加を図ることが考えられ、そのための方策として市民討議会の開催が考えられる。

その手法や課題について知見を得る。

②地域医療をどのように確保し、質を高めるかは、常に意識をし、時代に合わせたの対応が必要である。

地域医療政策セミナーへ参加をし、これらに対する知見を得る。

○結 果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

目的は達成できた。また、行政視察により以下の知識を身に着けることが出来た。

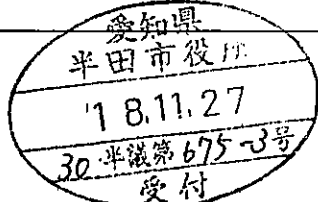
●三鷹市

- ・「まちデイス」はドイツの行われていた施策をモチーフにしている
- ・「金は出しても口は出さない」という行政の基本姿勢は大切
- ・費用は郵送代、資料作成費、昼食代をいれて 300 万円程度

※意外に費用がかかっていない事に驚き

- ・話し合いの方法とルールの明確さと周知は成功の鍵
- ・無作為抽出は行政の不関与を証明するのに必要な手段

確認欄	議長	管理委員長



申し合わせ様式第2号

●新宿区

- ・「区民等議会」はドイツの市民参加方式をモチーフにしている
- ・区民等議会は業務委託で実施している（予算額約 300 万円）
- ・参加者には 6000 円/日の謝礼が支払われる
- ・若者会議などインターネット会社を通じての市民意見も調査していた
- ・良い意味での「ガス抜き」をも否定せず、無作為抽出の作為性をも認めることの出来る職員の質の高さに感動した

●地域医療セミナー

- ・近隣の病院とタイアップし急性期医療を行わない事により、病院の経営改革を進めた事例発表に疑問を感じた。
- ※継続的な病院経営のためには、採算性（黒字化）は必要であることは理解できるが、搬送時間が生死の分かれ目である急性期医療が必要な患者さんの救えるはずの命を危険にさらしても採算性は必要なのかと感じた。

○提 言 （半田市に対し、何をどう活用するか。）

- ・「半田市は市民の声を聞く用意がある」ということの周知が必要
- ※パブリックコメントに対しても、誠意を持った回答と柔軟な意見の取入れが出来ないうちは、何を行っても形だけになってしまう
- ・「市民の声を聞く」という行動は「ガス抜き」や「地均し」という最低限の効果はあるので、重要政策を行う場合には必要不可欠
 - ・「みんなで一緒に大作戦」という不明瞭な方針より、「金は出すが口は出さない」のほうが市民協働にふさわしいのではないかと考える

○その他 （その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。）

- ・「みんなで一緒に大作戦」という不明瞭な方針より、「金は出すが口は出さない」のほうが市民協働にふさわしいのではないかと考える

確認欄	議長	管理委員長

○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間	内容		金額 (円)	領収書 No.
10/31	8:00~8:54	半田一名古屋 (JR)	運賃 (南大高 まで)	410	①
	9:22~11:03 11:25~11:56	名古屋一東京一三鷹 (のぞみ 114 号-JR 中央線)	運賃 指定席	6,480 4,830	③ ③
		昼食			
	13:34~13:37	三鷹駅一八幡前 小田急バス⑦番乗り場【51、 54】	運賃	220	⑧
	14:00~16:00	視察 NPO 法人みたか市民 協働ネットワーク	視察料	1,250	⑪
	16:17~16:27	八幡前一三鷹駅 小田急バス【鷹 51、54】		220	⑧
	16:46~17:16	三鷹一新宿 (JR 中央線快 速)		220	②
	宿泊	東急ステイ新宿 新宿区三丁目 7 番 1 号	宿泊費	12,000	④
11/1	9:30~11:00	新宿区視察	手土産	513	⑨
11/1	11:20~11:24 11:31~11:32	新宿一市ヶ谷一麴町 (都営新宿線一東京メトロ 有楽町線)	運賃	280	⑤ ⑩
	13:00~16:40	第 141 回地域医療政策セミ ナー (都市センターホテル)			
	17:11~17:17 17:25~17:28 18:00~19:41	麴町一東京一名古屋 (東京メトロ有楽町線一JR 山の手線一のぞみ 121 号)	運賃 指定席	170 6,260 4,630	⑥ ③ ③
	19:56~20:30	名鉄名古屋一知多半田(名鉄)	運賃	660	⑦
			合計	38,143	

※手土産 2,052 円 ÷ 4 名 = 513 円

※三鷹市 NPO 視察料 5,000 円 ÷ 4 名 = 1,250 円